

会 議 報 告 書

1. 概 要

会 議 名	平成元年度行財政改革推進委員会（第1回）		
日 時	令和 元 年 5 月 3 1 日（金） 9：30～12：00		
場 所	本庁舎 防災会議室		
議 事	(1) 委員長 副委員長の互選 (2) 琴浦町の現状と課題 ……資料1 (3) 行財政改革の推進方法 ……資料2 (4) プランについて ……資料3 (5) 事業レビュー対象事業の選定方法・視点 ……資料4 (6) 今後の予定		
結 果 概 要	○委員長、副委員長の決定 ○次回委員会(7月)にて、今回の意見等を反映させたプラン案を提示する。		
出 席 者	委 員 (8名)	福島 浩彦	藤井 辰美
		山根 弘和	森下 義雄
		野津 伸治	尾崎 智恵美
		加藤 公司	谷本 香奈子
	事務局	小松町長、山口副町長、山田総務課長、鈴木チーム長 長尾教育総務課長、大田税務課長、太田議会事務局長、 藤本生涯学習センター管理室長、藤原すこやか健康課長、 財賀子育て応援課長	
欠 席 者	なし		
傍 聴 者	2名		
備 考			

2. 決定事項等（意見）

(1) 委員長、副委員長の互選

委員長：福嶋浩彦

副委員長：山根弘和

(2) 琴浦町の現状と課題 【資料1】

- ① 行財政改革で使用する人口推計は、厳しい推計を使用する
(人口ビジョンのような出生率の上乗せはしない)

(3) 行財政改革の推進方法 【資料2】

- ① プランについて、プランに対するパブリックコメントを受け、委員会で意見を審議した後、最終決定をするようスケジュールの見直し(事務局にて調整)

(4) プランについて 【資料3】

ア 「行財政改革プラン」について

- ① プラン全体を通して分かりやすいものとする
- ② 用語解説により分かりやすいものとする
- ③ RPAなどは、どのように活用するのかを追加
- ④ 長年行ってきた事業の見直しについて、基本的な考え方を記載
- ⑤ 歳出のスリム化は、住民に求めるだけでなく、行政も尽力している姿を見せる。
- ⑥ マイナンバーの使用方法は、扱いに苦手な人がいることから、窓口での丁寧な対応を継続するなどの配慮を記載

イ 「1. 情報共有の徹底」について

- ① 情報の共有が最大のテーマで、「わかりやすい」ということが重要
- ② 「3(1)住民協働の推進」と「4(5)民間と行政の連携」は、重複するため整理

ウ 「2. 財政構造改革」について

- ① 「(4) 公共施設等の適正管理(配置)」に係る施設の統廃合については、利用者などの住民との座談会などによる合意形成を重視する
- ② 組織運営費などの現状などもわかりやすく具体的に記載
- ③ 「施設の指定管理者制度の導入」、「PPPによる施設の更新・管理」は、「公共施設の適正管理」への位置付け
- ④ ゴミ袋料金値上げについては、ゴミの減量化の視点を目的とするものとし、啓発活動の取り組みを記載(歳入確保ではなく、歳出削減のためのもの)

エ 「3. 行政の役割の見直し」について

- ① 行政が民間へ委託することだけでなく、その逆の可能性も含めた議論が必要(地域などが行っていたものを行政が行う可能性も)

オ 「4. 行政体制改革」について

案のとおり

カ 「5. シティプロモーション」について

案のとおり

(5) 事業レビュー対象事業の選定・視点 【資料4】

事業のわかるものを事務局より事前送付し、委員会（7月）にて対象事業を決定する

3. 未決定事項など

特になし

4. 今後の予定

次回開催日	7月26日（金）午前 ※予定
次回の議題	① 行財政改革プランについて ② 行財政改革アクションプランについて ③ 使用料・手数料等の適正化に関する基本方針について ④ 事業レビュー対象事業の選定
次回までの業務	① <u>行財政改革プラン</u> について意見等を反映させた案を事務局にて作成 ② プランの修正案に基づきアクションプランについて各課での作成 ③ 使用料・手数料等の適正化に関する基本方針の作成 ④ 事業レビューの対象事業選定のための一覧などの分かる資料を委員へ事前送付 ・事業一覧表、「ことしの仕事」など

5. その他特筆すべき意見等

町長あいさつ

- ・人口増える時代から人口が減少する時代に転換し、今までどおりのやり方できなくなる。
- ・今後、町民の意見を取り入れるため、役場の持っている情報を町民の皆様へ度々出していって、町民目線で行政を進めていきたい。
- ・今やっている事業は、どれだけ、今より良くなっていくのかという観点が大切

(4) プランについて

【資料3】

ア「行財政改革プラン」について

- 若手職員、女性職員によるワーキングチームの検討をしてはどうか。
- AIに判断を任せる場合に、町のデータを学習するチャンスがないと使えない。ワンストップサービスの実効性は、町としてどこまでできるのかが疑問です。
- 近隣市町と共同で実施できることはないかを模索すれば、スリムな経費と人員になる。
- マイナンバーは、扱いが難しいように思われるため、証明書発行などの窓口業務がおろそかにならないように注意が必要

ウ「2. 財政構造改革」について

- 財政構造改革は、税金を効率的、効果的に使っているかどうか。行政体制改革は、職員、人材を効率的、効果的に活用しているかであり、その目的は、住民にとって質の高い行政になっているかどうか。

エ「3. 行政の役割の見直し」について

- 祭をどのようにして良くしていくかという議論をしていかないと、「行政のコスト削減」、「職員の業務を減らしたい」と住民に思われてしまう。祭をみんなにとってよくしていくという視点が必要であり、行政が本気で祭を良くしていくんだという姿勢を見せなくてはなりません。
- 職員、臨時職員も自分の仕事の枠がどうしてもある。それを柔軟にしていくことが大切。（課・所属の枠を超えた考え方で業務を見直せば、効率的に業務を行えるものもある）

(5) 事業レビュー対象事業の選定・視点 【資料4】

- 事業レビューの対象をオープンで議論し、委員会で決定するのは画期的なことで、さらに一歩進んだ取り組みだと思います。

公共施設レビュー実施後の町の取組状況報告

○カウベルホール

- ・文化団体へ投げかけて、意見交換を開催予定。
- ・まずは活動者が運営に関われないか問いかけている。

○総合運動公園

- ・サッカー場の利用可能期間（年間半年程度）などの問題も含め、町内の専門業者へ意見を伺っており、民間への指定管理を含めた管理方法を内部で議論を始めている。

○まなびタウン

- ・福島県の新しい複合施設を視察するなど新たな役割を探っている。
- ・外部の有識者を招き図書館にアドバイスをいただく予定。

○インターネットでの施設利用申請、予約状況閲覧

- ・現在、必要経費を調査し、費用対効果を含めて検討している。